

# 『小人閑居不善をなす』



## 山口県飲食業生活衛生同業組合山口支部

たなべ みきあき  
支部長 **田邊 幹明**  
山口商工会議所 1号議員

1941年生まれ。山口市新町（現在 BAR SPEYSIDE のある場所）で生まれ育つ。小中高も山口市内に通い、卒業後は丸久に就職。2年間働いた後、兄夫婦が経営していたスタンドシロを引き継ぎ、50年間経営。2011年に息子に経営を譲り、現在に至る。山口県飲食業生活衛生同業組合山口支部では、1966年に理事に就任。1979年に支部長に就任し、2012年に支部長に就任し、現在に至る。趣味は、野球観戦とゴルフ。野球は、大リーグから甲子園まで網羅するほどの熱の入れよう。ゴルフは、数年前から始めたパークゴルフが特に気に入っており、現在は兄・弟や友人達と、週に1度はプレーしている。

### 【企業概要】

山口県飲食業生活衛生同業組合山口支部  
住 所：山口市中市町 1-10  
山口商工会議所ビル 4階  
TEL：083-922-7050

### 【事業所】

BAR SPEYSIDE (バー スペイサイド)  
山口市米屋町 1-2 TEL083-922-1307

### 田邊社長のプロフィールを教えてください。

山口市新町の現在お店のある場所で生まれ育ちました。山口市でずっと生きてきましたので、この近隣の昔のこともたいの事はわかります。

現在の SPEYSIDE の場所で、両親が東洋軒という食堂を経営していました。父は野球が大好きで、自分でチームを作って監督をしていたので、食堂はいつもその野球チームの人達で賑わっていました。

### 山口県飲食業生活衛生同業組合について教えてください。

山口県飲食業生活衛生同業組合は、飲食業を営む方々が、協力し合って安心安全なお店でお客をおもてなしようという目標をもって活動している組合です。山口支部でも、多いときには400名を超える会員がいましたが、今は会員数130名と、かなり少なくなっています。

地域の中での様々な活動を通して、当組合の存在意義を示していきたいと考えています。

私は、組合役員歴49年の大ベテランになりました。最近、商店街にも少しずつ飲食店が増えてきましたが、やはり若い経営者の中には、組合に加入されるのを躊躇される方も多いようです。

山口の夜の街は、本当に人が少なくなっていました。昔は、自分の店が満席であれば、組合の他の店を紹介させていただくなど、様々な協力体制をとっていましたが、今はそのような良い慣習も、徐々に希薄になっているように感じています。

### 山口県飲食業生活衛生同業組合の最近の取り組みはどのようなものがあるのでしょうか？

山口県飲食業生活衛生同業組合では、今年50周年を迎え、9月14日から30日まで「感謝の大抽選会」というイベントを行っています。

また、山口支部の活動として、「山口料飲組合チャリティーカラオケまつり」を実施しています。このイベントは、今年で4回目。9月20日に開催するのですが、120名の定員

は、毎年締切日を待たずにいっぱいになります。今年も早々に締め切らせていただきました。エントリー料は6,000円と安価とは言えませんが、それでも多くの方が参加くださり、自慢の歌声を披露されます。このイベントの収益金の一部を東北支援に寄付しています。

このような活動を通じて、地域や東北など多くの方の力になれるよう、今後も努力を続けたいと考えています。



山口県飲食業生活衛生同業組合山口支部では、様々な活動を行っています！



SPEYSIDE 入口。スコットランドの6つのシングルモルトウイスキー蒸留所の内、もっとも面積が広いのが「スベイスайд」。スベイスайдのように一番に羽ばたきたいという思いが込められています。

## 田邊支部長ご自身のお店について教えてください。

昭和5年に父と母が始めた東洋軒ですが、昭和26年頃の朝鮮戦争時は、進駐軍専用のBARになりました。現在の宇野野令の自衛隊駐屯地に、ニュージーランド兵が出兵のために駐屯しており、彼らのための店にしました。朝鮮戦争後は、私の兄夫

妻が「スタンドシロ」へと転換しました。私は当時18歳で、丸久に就職していました。2年後の20歳になったとき、兄が転勤で山口を離れることになり、私が丸久を退社し、バーを継ぐことになりました。

それから50年、私は70歳になるまで妻と2人でスコッチハウスシロを経営し、2011年に店を改装して息子に引き継ぎました。



店内カウンター正面には、田邊支部長自慢のシングルモルトウイスキーがズラリ

## これまでで一番嬉しかった事や、長年の経営で一番苦しかった時期はいつでしょうか？

一番苦しかったのは、店を新しくしたいと考えていた時です。飲食業を営むものにはなかなか信用がなく、銀行もお金を貸してくれなかった時代でもありましたが、オイルショックのまっただ中で、建築を延期せざるを得なくなりました。この頃が、私にとっては一番苦しくて、苦勞したと思える時期だったと思います。

結局、昭和52年まで待って、現在の3階建てのビルを建てることができました。

景気も上向きの時期で、ビル新築の際にはお金を借りることができ、今の建物を建設することができました。

一番楽しかった・嬉しかったのは、昭和37年、弟が山口県鴻城高等学校野球部で甲子園に出場し、応援に行った時です。開

会式後の第2試合でしたので、開会式の入场行進を見て、試合の応援もし、本当に感激しました。今でも、人生で一番感動した瞬間として、記憶に刻まれています。

## 「小人閑居不善を為す」がモットーと伺いました。

今はお店を息子が継いでおり、私は、裏で料理を作るのが仕事になっています。人気のメニューである「SHIRO 焼きそば」は、私が腕をふるっています。

しかしながら、モットーの「小人閑居不善を為す」からもわかるように、私のような凡人が暇をもてあますと、何か悪いことをしてしまうかもしれません(笑)。ですから、今は毎日料飲組合の事務所に顔を出し、自分の役目を積極的にこなすようにしています。

また、「日本バーテンダー協会」にも長年加盟していました。多くの大会に出場し、「山口で一番おいしく、多くの種類のカクテルを作ることができる」という自負がありました。

現在店を継いでいる息子は、国際バーテンダーの資格を持っています。この辺りでは珍しいと思います。



店を継がれた息子さんは、インターナショナルバーテンダーの資格を持つ、県内でも数少ないバーテンダー

## 現在の趣味はパークゴルフだと伺いましたが。

そうです。みなさんは、「パークゴルフ」というスポーツをご存知でしょうか？

私はもともとゴルフをしていました。ある日知人に誘われて、山口市佐山のテクノパーク内にあるパークゴルフ場に行って、初めてパークゴルフというスポーツに出会いました。

ゴルフと同じようにパーの数が決まっておりますが、ゴルフよりかなり近距離で、グラウンドゴルフのように1本のクラブ、1つのボールでラウンドします。18ホール回って、2~3km 歩く程度なので、年齢を重ねた我々にも優しいスポーツです。

現在は、山口市徳地にある『パークゴルフ

ひくたに』というパークゴルフ場に毎週通っています。1日プレーしても600円ととてもリーズナブルで、レンタルクラブがあるので、体一つで行くだけですぐにプレーできます。初心者の方でも気軽に楽しめます。

徳地の山の中にあり、周囲も緑に囲まれたとても良い環境で、ラウンドするだけでリフレッシュとリラックスができます。芝生の上で深呼吸もでき、少し体を動かすだけで、とても健康になるような気がします。

みなさんも、是非『パークゴルフひくたに』に行ってみてください。おすすめですよ。



パークゴルフひくたにの様子

## 業界の現状については、どのようにお感じですか？

飲食業界、特に我々のようにバーなどを営む者には、厳しい時代だと思います。今は、居酒屋などの一次会のお店で長時間過ごし、二次会でお店に入られても、あまり多くのお酒を召し上がる方はおられません。昔は、楽しく酔って盛り上がる方も多く、カウンターで会話を楽しみながら過ごされるお客様も多かったのですが、現在は、グループで来店されボックス席で仲間同士だけで会話をされる方が多くなりました。

そういう時代なのだ、と理解しながらも、寂しい気持ちになります。昔は、店に来るお客様同士が仲間になって、なじみのお店に行けば友達がいる、という環境だったように思われ、その時代を懐かしく感じます。

## これからの目標などをお聞かせください。

山口料飲組合の組合員を増やすことが、まず一番の目標です。私たちは、助け合いながら、地域の絆を守り、これからもお店を続けていきたいと考えています。若い方々は、どうしても組合への加盟には消極的になりがちですが、やはりこれからのまちの元気は、若い方々の双肩にかかっていると思います。私のような年配者も頑張っているのですから、若い方々も、組合に加盟して、みんなでまちを盛り上げていきましょう！